

報道関係者各位

株式会社 BCN
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14 本郷ダイヤビル 6F
TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-2665

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。
BCN AWARD 2008 事務局 高倉正道(マーケティンググループ)
TEL:03-4236-5133 E-MAIL:takakura@bcn.co.jp

発表！「BCN AWARD 2008」受賞メーカー決定 PC 関連及びデジタル家電商品 94 部門の国内ナンバーワン・ベンダーを決定 ～プロと若い世代の夢をつなぐ「BCN IT ジュニア賞 2008」の受賞者も決定～

株式会社 BCN(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)は、1月10日、全国の主要なパソコン販売店、家電量販店の POS データ集計に基づき、パソコン関連商品及びデジタル家電商品 94 部門でのセールスナンバーワン・ベンダーを選ぶ「BCN AWARD 2008」の受賞社を発表した(詳細別紙参照)。

「BCN AWARD 2008」は、2007年1月から12月までの販売店の POS データにより、AWARD の受賞社を選定している。実売台数という客観的な指標による AWARD は、国内唯一のもので、今回が第9回となり、94部門42社の受賞となった。

「BCN AWARD」は、主要パソコン販売店、家電量販店 24社 2,310店舗の POS データ統計を作成する当社が、同データを基に年間(1月～12月)販売台数第1位のベンダーを表彰するもの。選考にあたっては、高知工科大学名誉教授・水野博之氏、つくば国際大学教授・大野侑郎氏、サイバー大学教授・前川徹氏、東北大学名誉教授・宮崎正俊氏、森・濱田松本法律事務所弁護士・辛島睦氏の5人の学識者からなる「認証委員会」を設置し、同委員会の検証を経た公正な評価システムが導入されている。

対象部門は、ハードウェアが62部門、ソフトウェアが32部門の計94部門。今回の AWARD では、携帯オーディオアクセサリの1部門を新設している。

パソコンでは、デスクトップ部門で富士通が初受賞し、ノート部門では昨年に引き続き東芝がトップを獲得した。デジタルカメラ(レンズ交換型)部門ではニコンが初受賞となった。デジタル家電においてはシャープが激戦の HDD・DVD レコーダー部門で初受賞し、液晶テレビの32インチ未満、32インチ以上の両部門とも4年連続トップとなり、3冠となった。プラズマテレビでは松下電器産業が昨年に引き続きトップになっている。(注) デジタルカメラ(レンズ交換型)部門は、デジタルカメラの一眼レフタイプを指します。

なお、BCN AWARD 2008 については、1月25日(金)青山ダイヤモンドホールにおいて表彰式を開催する。

<POS データ提供販売店>

アマゾンジャパン、エイデン、大塚商会、グッドウィル、ケーズホールディングス、サードウェーブ、さくらや、サンキュー、上新電機、ストリーム、セブンドリーム・ドットコム、ソフマップ、ZOA、九十九電機、T・ZONE ストラテジィ、デオデオ、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、ミドリ電化、ムラウチ、ムラウチドットコム、ユニットコム、ラオックス、(50音順)以上24社。

(注1) 2,310店舗は07年における店舗数の最大値で、新規出店、統廃合などにより店舗数は若干変動いたします。

(注2) 集計対象の社数は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしております。

(注3) ケーズホールディングスの旧デンコードー店舗分はランキングデータ 集計に含まれておりません。

<ハードウェア部門62部門28社>

部門名	受賞社	受賞回数
デスクトップPC部門	富士通株式会社/株式会社富士通パーソナルズ	初受賞
ノートPC部門	株式会社東芝	2年連続2回目
液晶ディスプレイ部門	三菱電機株式会社	9年連続9回目
インクジェットプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	2年連続3回目
ページプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	9年連続9回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続3回目
複合プリンタ部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	5回目
フォトプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	初受賞
外付けハードディスクドライブ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	4回目
内蔵ハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	9年連続9回目
MOドライブ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	3年連続4回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	6年連続6回目
CD-R/RWドライブ部門	株式会社バッファロー	6年連続6回目
メモリ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	初受賞
マザーボード部門	アスース・ジャパン株式会社	3年連続5回目
メモリカード部門	サンディスク株式会社	初受賞
拡張インターフェース部門	株式会社バッファロー	5年連続5回目
カードリーダー部門	エレコム株式会社	初受賞
USB部門	エレコム株式会社	8年連続8回目
USBメモリ部門	株式会社バッファロー	3年連続3回目
KVM切替器部門	株式会社コレガ	3年連続3回目
映像関連ボード部門	株式会社アイ・オー・データ機器	5年連続7回目
グラフィックボード部門	シー・エフ・デー販売株式会社	5年連続5回目
サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	9年連続9回目
スピーカ部門	エレコム株式会社	5年連続5回目
MIDI部門	ローランド株式会社	8年連続8回目
LANカード部門	株式会社バッファロー	9年連続9回目
HUB部門	株式会社バッファロー	7年連続8回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	5年連続6回目
プリントサーバ部門	株式会社バッファロー	8年連続8回目
無線LAN部門	株式会社バッファロー	6年連続6回目
モデム部門	株式会社アイ・オー・データ機器	3年連続3回目
スキャナ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	8年連続8回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	4年連続4回目
デジタルカメラ(レンズ交換型)部門	株式会社ニコン/ニコンカメラ販売株式会社	初受賞
マウス部門	エレコム株式会社	8年連続8回目
キーボード部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
10キーボード部門	エレコム株式会社	4年連続4回目
ゲームコントローラ部門	エレコム株式会社	4年連続4回目
タブレット部門	株式会社ワコム	9年連続9回目
携帯オーディオ(フラッシュメモリ)部門	アップルジャパン株式会社	4年連続5回目
携帯オーディオ(HDD)部門	アップルジャパン株式会社	4年連続5回目
PCカメラ部門	株式会社バッファロー・ココヨサブライ	初受賞
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	3年連続3回目
PCケース部門	Antec, Inc./株式会社リンクスインターナショナル	初受賞
PC電源部門	株式会社サイズ	2年連続2回目
ベアボーン部門	日本Shuttle株式会社	初受賞
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	2年連続2回目
CDメディア部門	日立マクセル株式会社	4年連続4回目
DVDメディア部門	日立マクセル株式会社	4年連続4回目
MOメディア部門	日立マクセル株式会社	4年連続4回目

部門名	受賞社	受賞回数
液晶テレビ(32インチ未満)部門	シャープ株式会社	4年連続4回目
液晶テレビ(32インチ以上)部門	シャープ株式会社	4年連続4回目
プラズマテレビ部門	松下電器産業株式会社	4年連続4回目
HDD・DVDレコーダー部門	シャープ株式会社	初受賞
DVDプレーヤー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	2年連続3回目
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	4年連続4回目
サラウンドシステム部門	オンキヨー株式会社	4年連続4回目
デジタルビデオカメラ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	4年連続4回目
ICレコーダー部門	オリンパスイメージング株式会社	2年連続2回目
IP通信関連機器部門	株式会社バッファロー・ココヨサプライ	初受賞
新設 携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	初受賞

＜ソフトウェア部門32部門14社＞

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	マイクロソフト株式会社	9年連続9回目
プログラミングソフト部門	マイクロソフト株式会社	9年連続9回目
統合ソフト部門	マイクロソフト株式会社	9年連続9回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	9年連続9回目
FEPソフト部門	株式会社ジャストシステム	9年連続9回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	5年連続5回目
データベースソフト部門	マイクロソフト株式会社	9年連続9回目
表計算・グラフソフト部門	マイクロソフト株式会社	9年連続9回目
プレゼンテーションソフト部門	マイクロソフト株式会社	9年連続9回目
グラフィックスソフト部門	アドビシステムズ株式会社	5年連続8回目
LAN・インターネットソフト部門	ソースネクスト株式会社	5年連続5回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	8年連続8回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	9年連続9回目
ユーティリティソフト部門	ソースネクスト株式会社	6年連続6回目
教育・学習ソフト部門	株式会社インターチャネル・ホロン	初受賞
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	7年連続8回目
テンプレートソフト部門	デザインエクステンション株式会社	3年連続3回目
フォントソフト部門	ダイナコムウェア株式会社	8年連続8回目
クリップアートソフト部門	株式会社データクラフト	5年連続5回目
葉書・毛筆ソフト部門	株式会社クレオ	9年連続9回目
ホームソフト部門	ソースネクスト株式会社	4年連続4回目
携帯電話ソフト部門	ソースネクスト株式会社	8年連続8回目
MAP・ナビソフト部門	株式会社クレオ	初受賞
セキュリティソフト部門	株式会社シマンテック	7年連続7回目
幼児ソフト部門	ソースネクスト株式会社	2年連続2回目
画像処理ソフト部門	アドビシステムズ株式会社	6年連続6回目
データ管理ソフト部門	ジョルダン株式会社	2年連続2回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	4年連続4回目
システムメンテナンスソフト部門	ソースネクスト株式会社	3年連続3回目
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	初受賞
ビデオ関連ソフト部門	ソースネクスト株式会社	4年連続4回目
PCゲームソフト部門	ソースネクスト株式会社	2年連続2回目

＜「BCN IT ジュニア賞 2008」＞

BCN では、技術立国日本の次代を担う若い世代にモノづくりの情熱を伝え、IT 産業にひとりでも多くの優秀な人材を招き入れるために、2006 年に「BCNIT ジュニア賞」を設立した。

全国の高等専門学校が生徒が参加する「プログラミングコンテスト」、全国の高校生の大会「高校生ものづくりコンテスト」、「全国高校生プログラミングコンテスト」、そして全国の20歳以下の若者が対象の「U-20プログラミングコンテスト」といった大会の入賞者から、優れた技術を持つ若きエンジニアたちを選定、「BCN AWARD」の会場で表彰を行う。今回は4チームと個人1名が受賞者として選ばれた。

IT関連メーカーのトップが集う場で、若者たち自身に、創り上げたIT作品や日常の制作活動についてデモンストレーションをしてもらい、経営トップからの激励と表彰を受けることで、彼らにIT技術に取り組む情熱が受け継がれることを期待している。

また今回は、NPO法人・ITジュニア育成交流協会より、2チームに「ITジュニア育成交流協会高山理事長賞」が贈られる。

＜「BCN IT ジュニア賞 2008」受賞チーム・受賞者＞

- ・ 岐阜県立東濃実業高等学校 コンピュータ部
- ・ 国立弓削商船高等専門学校 「join NASS」製作チーム、「Beauty and Beads」製作チーム
- ・ 富山県立富山工業高等学校 全国高校生プログラミングコンテスト参加チーム
- ・ 長野県松本工業高等学校 小口宏之

＜「ITジュニア育成交流協会高山理事長賞」受賞チーム＞

- ・ 国立詫間電波工業高等専門学校 「WIND+WOW！」製作チーム
- ・ 真岡コンピュータ・カレッジ チーム「たかねっち」

【BCN AWARD 2008 表彰式開催要領】

「BCN AWARD 2008」については、受賞ベンダー42社、POSデータ提供販売会社などを招き、表彰式および親睦会を開催します。取材等ご希望の方は、是非ご参加下さい。

日時：2008年1月25日（金）

- 16:00 開会
- 16:10～ 「BCN AWARD 2008」表彰式
- 16:45～ 「BCN IT ジュニア賞 2008」表彰式
- 17:25～18:25 懇親会

場所：青山ダイヤモンドホール(住所：東京都港区北青山3-6-8)

＜「BCN AWARD 2008」後援団体＞

- 財団法人 社会経済生産性本部
- 社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
- 社団法人 電子情報技術産業協会
- 社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
- 社団法人 コンピュータソフトウェア協会

協力

特定非営利活動法人 ITジュニア育成交流協会

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

BCN AWARD 2008 事務局 高倉正道(マーケティンググループ) TEL:03-4236-5133 E-MAIL:takakura@bcn.co.jp